



永平寺町

第39号

平成27年7月17日 発行

議会だより

吉野幼稚園 ホタル見会

(※ 最終ページに紹介記事)



2015. 6. 10

特集

防災「豪雨災害」への準備は
教育委員会制度、こう変わる

8 3つのプロジェクトチーム始動

9 そこが聞きたい! 議員17人が一般質問

22 議会と語ろう会 質問への回答【ダイジェスト版】

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

発表された「教育大綱」、 教育委員会制度、こう変わる

平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、今回、町の「教育の振興に関する大綱」が発表されました。

この法律は、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることを目的に、教育委員会の制度改革で、4つのポイントがあります。(下記のとおり) その中の1つに、教育に関する「大綱」を首長が策定することとなっています。

「大綱」は、町が定める教育振興基本計画の施策の目標や施策の根本となる方針の部分に該当すると位置づけられ、4～5年程度を想定し、首長と教育委員会で構成される「総合教育会議」で協議され策定されます。

本町の大綱の中身は、永平寺町がめざす5つの教育目標を実現するために施策を定めたもので、

- 1. 学校教育の充実
- 2. 家庭教育の充実
- 3. 生涯学習の充実
- 4. 生涯スポーツの充実
- 5. 地域の社会教育力の充実
- 6. 地域文化の振興
- 7. 健全な青少年の育成
- 8. 共に生きる社会づくりの充実

の8つの分野に合計47項目の施策を定めています。

その中で気がかりな2つの項目があります。

- (1) 学校規模の適正化について検討を進めるとともに、小規模校・中規模校などそれぞれの規模でのメリット・デメリットをきめ細かく分析し、教育の機会均等と水準の維持向上に努める。
- (2) 学校給食における調理方式を見直し、より合理的で効率的な学校給食の推進を図る。

教育は効率性だけでは決められないものだと思います。多くの町民が、子どもたちのことを考え、議論する機会がたくさんできることを期待します。(滝波 記)

4つのポイント

POINT① 教育長

教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置



POINT② 教育委員会

教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

POINT③ 総合教育会議

すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置



POINT④ 大綱

教育に関する「大綱」を首長が策定



6月7日(日)松岡地区水防訓練(自主防災会と消防団)

防災「豪雨災害」準備は!

昨年の10月中旬、台風19号により発表された「避難準備情報」について、町民の方々がどのように行動したらよいか、区長をはじめ自主防災会や、町民の方々が右往左往したことをお聞きし、12月議会にて一般質問をしました。行政はその反省をふまえ、本年4月より本町総務課生活安全室に消防職員を配置し、一生懸命防災強化策に取り組んでいます。2か月が経った現在、自主防災組織連絡協議会の強化も進んでいると感じています。

これら自主防災組織連絡協議会強化の取り組みも、町民一人一人が真剣に「防災に強い町づくりを」という、気持ちを持つことが大切です。

よく耳にする、「自助・共助・公助」ですが、まず自助は、私たち家族それぞれがどのように行動するかどうか。東日本大震災での大津波では、昔から自分の身を守るために言い伝えられた「**「てんでんこ」**という言葉があります。これは、「地震津波が発生したら個々に高台に避難し、自分の身をそれぞれに自分で守りなさい」と子々孫々、言い伝えられた言葉です。

災害はいつとも同じではないので、なかなか町民の皆様には浸透しませんが、今一人一人ができることは、災害の情報を理解し、災害に応じた地区指定の避難場所へ避難することから始めることが「自主防災活動」すなわち、「自助」から「共助」につながり、地域防災力の強化につながる強く感じます。

(中村 記)

防災行政無線情報のケーブルテレビへの配信について

10月頃から防災行政無線情報を、ケーブルテレビの行政チャンネルとコミュニティチャンネルに配信します。気象情報や、避難指示・避難勧告などの避難情報を配信します。行政無線の音声で聞き取りにくい場合などのときに、ケーブルテレビにて確認をお願いします。



予算決算常任委員会審査報告

委員長 上田 誠

【主な項目】

旧織物会館跡地

ふるさと創造プロジェクト 2,500万円
(総額2億5000万円) (土地購入費)

道の駅 地域振興施設 2,000万円
(総額1億5000万円) (備品購入費)

永平寺町地域再生計画 1,000万円
(森ビル都市企画へ業務委託)

介護施設整備補助金 7,770万円
(小規模多機能型・グループホームの2施設)

松小体育館吊り天井撤去等工事 3,600万円
(全ておおよその金額です)

一般会計6月補正予算
総額 **2億484万円**

当委員会に付託された議案第37号「平成27年度一般会計補正予算」から議案第41号「平成27年度上水道事業会計補正予算」の5議案は原案のとおり可決した。なお、一般会計補正予算の採決には議会基本条例に基づき自由討議を行い、当委員会として意見書の提出を承認し、原案を賛成多数で可決した。



松岡小学校体育館

平成27年度6月補正予算に対する意見書

1. ふるさと創造プロジェクト事業

永平寺町「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト事業」について

- 1) 事業の目的、計画にそった内容の再検討、精緻化を図り実施計画の具体策を早急に示すこと
- 2) プロジェクト推進協議会との連携を進め、目的の趣旨にあった町民（住民）のための施設とすること

2. 道の駅整備に伴う地域振興施設に必要な備品購入について

- 1) 道の駅地域振興施設の備品は、その施設の規模、内容等に応じたものとなる様再検証を図ること
- 2) 備品は目的に応じた地域振興の設備なのか、収益事業の備品なのかを明確にし、協定書等に区分明記し適切な対応を図ること
- 3) 指定管理に伴う施設の備品については使用料等の検討を図ること

問 ◆ 学校教育課
松小体育館の天井については、建設当時から危険性を指摘してきた。建設数年で撤去になり町の負担は大きい。業者への対応を求めるべきである。

答 建設当時は安全性を確認した。今回、国の指導で撤去になった。業者への対応はできないと考える。

問 ◆ 地域振興の備品が、収益事業の備品か区別し、使用料は取るべきである。

答 事業計画を実施するために必要なものと考えている。指定管理料の軽減にもなると考えている。

問 ◆ 建設課
備品購入に2千万円は規模・内容から過剰設備でないか。

答 地域振興施設の目的にそった備品であり、開設に必要なものと考えている。

問 ◆ 商工観光課
地域再生計画策定にあたり位置づけを明確にすべき。

答 アンケート調査をもとに、観光、町ブランド化の方向を定め、各地区一体となった方向を示す。

問 ◆ 外部委託に1千万円もかけるなら、職員の資質向上にも、もっとかけるべき。

答 予算の許す限り研修等を受けている。職員の情報源や資質は大車。今後も対応していく。

問 ◆ 福祉保健課
福祉施設はどこに決まっているのか。他の支援は。

答 7月に募集要項をつくり、3ヶ月後ぐらいに決定していく。補助は施設あたり上限3200万円の予定で、他支援は現在ない。

問 ◆ 総合政策課
ふるさと創造プロジェクトのねらいや具体性に欠けイメージが先行している。

答 憩いと交流の場、情報発信、イベント会場、アンテナショップの拠点と位置づけている。

問 ◆ 町民のための事業となるよう町の方向をもっと示すべきである。

答 協議会の意見を聞いて町民の交流、訪れる人の情報発信の場となるようにする。

問 ◆ 実施計画にそって確実に進めるべき。

答 早急に推進協議会と連携して進めていく。

問 ◆ 総務課
防災無線情報のこしの国テレビ表示の運用開始は。

答 テロップ放送は10月末を目処に。

平成27年 第2回定例議会報告

平成27年第2回永平寺町議会定例会は、6月2日（火）～17日（水）まで16日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。議長 川崎 直文

第2回定例議会議案

報告第1号 平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告	議案第38号 平成27年度介護保険特別会計補正予算	可決
報告第2号 平成26年度上水道事業会計予算繰越計算書の報告	報告	議案第39号 平成27年度下水道事業特別会計補正予算	可決
承認第1号 平成26年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第40号 平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決
承認第2号 平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第41号 平成27年度上水道事業会計補正予算	可決
承認第3号 平成26年度介護保険特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第42号 道の駅設置および管理に関する条例の制定	可決
承認第4号 町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	議案第43号 消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
承認第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	議案第44号 指定管理者の指定	可決
承認第6号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認	承認	議案第45号 小型除雪車（ロータリー）1.5m級の取得	可決
議案第37号 平成27年度一般会計補正予算	可決	議案第46号 小型動力ポンプ自動車・救助資機材積載車の取得	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載（○賛成 ×反対 -欠席 □退席）※議長（川崎直文）は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	樂間	齋藤	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
承認第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等15件については全員賛成です。

議案への賛否討論

承認第4号

町税条例の一部を改正する 条例の専決処分の承認

反対討論 金元 直栄

町税条例の改定中、①マイナンバーの運用に向け、個人番号の記載を義務づけることには、マイナンバー制度に問題があること。②軽自動車税グリーン化特例は、新車に買い替えられる人にか恩恵はなく、13年以上の車には大幅な増税とは納得できない。③タバコ税の特例廃止も、わかば等々の安い庶民向けのタバコの増税となる。等の理由で反対する。

承認第5号

国民健康保険条例の一部を 改正する条例の専決処分の承認

反対討論 金元 直栄

課税限度額の引き上げだが、今回は4万円の引き上げで、合計85万円となる。介護保険や、後期高齢者医療制度のできる前、20年程前は40万円台が、今ではその倍にもなっているのは異常だ。

国はこれら制度に支援すべきで、この引き上げには反対だ。

賛成討論 滝波登喜男

今回の改正は、国の法改正に伴う町条例の一部改正であり、国保会計の財源確保ということなので賛成とする。

議案第37号

平成27年度

一般会計補正予算

反対討論 金元 直栄

町民に必要な予算案に反対するつもりはないが、①ふるさと創造プロジェクト事業は、目的が明確にならないまま進めることは疑問だ。②道の駅施設の売店に関する備品購入約2千万円というのなら、賃料を求めると。③松岡小学校体育館の天井撤去は、建設して間もないこと、耐震性のあるものという施工業者の言うままに施工したことから、業者に負担を求める必要があるのに求めないという答弁しかないことから、反対の立場をとる。

賛成討論 滝波登喜男

議論の中心となっているふるさと創造プロジェクト事業の事業内容の再検討および道の駅の備品の精査について、予

算委員会で見解を提出することとなった。よって意見書を付して賛成とする。議会としては、今後の行政の取り組みを注視しなければならぬ。

反対討論 上田 誠

町民のくらしと安全を守るための防災、消防、認知症、グループホーム施設等の予算に反対するものではないが、①ふるさと創造プロジェクト事業内容の不確定や推進委員会での論議がない。真に町民のための施設とするための道の駅備品購入は施設の規模や、収益目的かを考慮すると過剰であり対応が必要。以上の点から反対の立場をとる。

賛成討論 奥野 正司

今回補正について討議となった、ふるさと創造プロジェクト事業用地購入費と道の駅整備に伴う地域振興施設備品購入費については、目的・計画に合った実施計画の検証・提示と、地域振興なのか収益事業用品なのかの区分を明確にした対応、意見を付して賛成する。

常任委員会報告

教育大綱など論議

教育民生常任委員会

委員長 滝波登喜男

当委員会は6月16日委員全員出席のもと開催した。付託案件はなく、当面する諸課題について協議した。

協議事項

- ①永平寺町教育大綱
- ②18歳選挙権に対する教育現場の対応
- ③松岡公民館の耐震性
- ④公民館主事の配置と活動状況
- ⑤福井しあわせ元気国体の取り組み状況

《主な意見》

- ①教育大綱とはどういう性格のもので、教育行政の中での位置づけを大綱のなかに明文化して示すように。
- ②2つの大学を有する本町において、住民票を持ってこない学生の棄権が問題になっている。国に対して県外者でも簡潔に手続きができ、投票できるように求めるように。
- ③耐震補強設計が出た時点で、将来を見越した決断ができるよう、様々な可能性を模索してほしい。

消防団員の幅広い入団・防災力の強化 促進のため、文言追加の条例改正可決

総務常任委員会

委員長 中村勤太郎

本委員会は6月12日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され、付託された案件について慎重に審議した。

議案第43号 永平寺町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国の規定に合わせて、町の条例に一部文言を追加し、消防団員の報酬や大学生等の入団促進を図るため、幅広く層の厚い永平寺町管内の防災力の強化を促進するものである。また、条項に「公務災害補償」及び、「退職報償金」の支給を明確化し、消防団員への待遇面をより明確に定める改正である。

議案第46号 小型動力ポンプ自動車・救助資機材積載車の取得について

この車両の取得については、地

方自治法及び、条例の規定に基づき、議会の議決を求める案件で、老朽化した消防団の車両更新で、上志比地区第1分団に配備する計画である。平成28年、本町消防本部・署の統合に向け、広域的に管内消防力の充実強化を図るもの。今後も、管内消防力のバランスが取れた防災力の強化を願う。

《主な意見》

- ①現在の機能別消防団員は何名と なっているのか。
- ②大規模災害時の、ボランティア活動に対しての、行政が行う支援・待遇等について。意識レベルのフラット化で、ボランティアア団体等が気持ちよく行動支援できるように受援される行政側の向上心を願う。………採決の結果、委員会全員賛成により可決

道の駅設置の管理、指定管理者の 指定に関する条例を可決

産業建設常任委員会

委員長 朝井征一郎

本委員会は6月15日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され、付託された3案件について慎重に審議した。

議案第42号 永平寺町道の駅設置および管理に関する条例の制定について

13条の使用料については、施設での使用、駐車場での使用に分けて決める。(営利目的、地域目的の為) 利用料金については指定管理者と協議の上決める。また指定管理者は収支決算書を提出する。………全員賛成可決

議案第44号 指定管理者の指定について

道の駅事業目的に関する、施設の備品購入については、人件費削減のためのシステムを導入し、経費が抑えられることから、備品購入については地域振興施設の付帯設備なのか、施設内の事業(販売

等の営利目的)の備品なのか? 1種、2種、に分けて指定管理者と協議の上、協定書等に明記し適切な対応を図る。………全員賛成可決

議案第45号 小型除雪車(ロータリ)1.5m級の取得について

機能補償道路の完成に伴い、上志比地区、他の歩道等の除雪を行う事を目的とする。………全員賛成可決

付帯意見

道の駅、禅の里温泉前の国道416号線に追い越し禁止区間の設定、道の駅の看板設置を市荒川大橋、上志比インター付近に設置

3つのプロジェクトチーム(PT)始動

地方創生 公共施設再編 福井国体

プロジェクトチーム(PT)委員構成 ◎リーダー ○記録員

地方創生PT	公共施設再編PT	福井国体PT
◎ 江守 勲	◎ 滝波登喜男	◎ 小畑 博
○ 多田 憲治	○ 奥野 正司	○ 中村勘太郎
川崎 直文	齋藤 則男	伊藤 博夫
上田 誠	金元 直栄	酒井 要
長岡千恵子	朝井征一郎	川治 孝行
上坂 久則	樂間 薫	長谷川治人

議会として専門的に審査、調査、提言を行うべき行政課題として、

1. 地方創生のまちひとしごと創生総合戦略の策定
2. 公共施設再編計画の策定
3. 福井しあわせ国体の開催準備

があります。

これらに、適切かつ迅速に対応するために、研究会を設置しました。

3つの課題ごとに、プロジェクトチームを編成し、取り組んでいます。

地方創生PT



「永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」に、2名が参加。策定委員会と並行して総合戦略の審議、提言を行う。

公共施設再編PT



「公共施設再編の中間報告について」の審議、現地視察を行う。

福井国体PT



福井しあわせ元気国体の会場となる施設を視察。



ここが聞きたい!

問&答

6月定例会 一般質問

17名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



伊藤 博夫 議員

問 本町の合併10周年記念事業は

答 式典は2月13日、事業は新年度で

問 合併10周年記念事業の予算時期は、

答 総務課長 来年の2月13日をもって10周年を迎えようとしており、9月補正予算に計上する予定。

問 実施時期は、

答 総務課長 2月13日は土曜日ということもあり、町民の方が参加できるような期日である。町内の施設利用を検討している。

問 合併10周年の意義

答 総務課長 新町誕生までの歴史や10年間を振り返り、町の魅力を効果的に発信し、町民の愛町心を育むとともに、次の10年間に向け本町の姿を描くことを考えている。

問 記念事業の内容

答 総務課長 詳細は検討中だが、町民の皆様が参加しやすい式典を目指している。

問 合併10周年記念式典及び祝賀会は全町民で祝うべきと思うが案内者の範囲

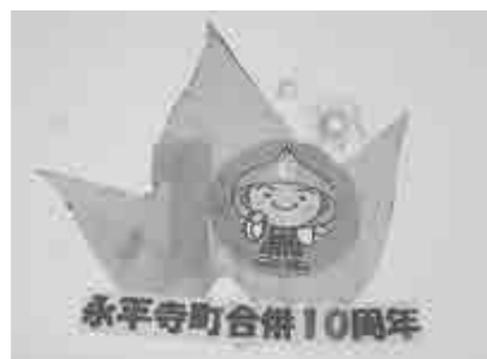
答 総務課長 各種団体の関係者や民生、産業、教育等の分野で、まちづくりに貢献している方々にご案内を考えている。

問 合併10周年記念シンボルマークの募集は、

答 総務課長 永平寺のブランドの価値やイメージの拡大のためにロゴマークの作成を検討しており、いろんな事業に採用したい。

問 10周年記念冠事業を募集し、認定しては、

答 総務課長 冠事業は町の行政の中で、福祉、教育関係等いろんな分野で想定され、関係課や団体等



私が考えたロゴマーク

を含めて協議をしたい。

問 10周年記念を迎え、町長の思いは、

答 町長 この10年間、2町1村がひとつになるため多くの取り組みがなされ、少子高齢化、人口減少、行財政改革等、多くの課題がある中で新しい10年を迎えることを認識し、合併してからとそれ以前の2町1村の取り組みを検証し、次の10年の節目としてしっかりと取り組んでいく。



齋藤 則男 議員

問 指定管理者制度とは

答 公の施設を、適正かつ効率的な運営を図る

問 指定管理者制度とはどのような制度なのか。その意義、制度の内容は。
総務課長 公の施設について適正かつ効率的な運営を図ることを目的としており、町が指定する法人その他の団体に管理を行わせるものであり、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づく制度である。
問 町が今、指定管理者制度を実施している施設での利点、問題点は。
建設課長 住民サービスの向上や経費の節減ということを目的に導入しており、制度導入によって、職員の事務の軽減と人件費の削減、あるいは作業に伴う人員、作業機械、機械器具等の配置と

地元の繁栄のための施設であって、金儲けの施設ではないということ、これは明確にしていたきたい。町民を含め、内外にPRできる発信基地としての機能が果たせるようなものにし、地元の繁栄につながる施設であ

問 道の駅の収益部門について、果たして指定管理というのが適切なのか。農産物などを持ち込んだ場合に持込手数料を取る、公の施設でありながら、販売手数料も取るというのには理解しがたい。指定管理については、営業収益部門については委託するなどの方法がとれないものか。
建設課長 道の駅の収益部門について、果たして指定管理というのが適切なのか。農産物などを持ち込んだ場合に持込手数料を取る、公の施設でありながら、販売手数料も取るというのには理解しがたい。指定管理については、営業収益部門については委託するなどの方法がとれないものか。

問 道の駅、なぜ指定管理にするのか。
建設課長 民間のノウハウを生かした効果的で効率的な施設運営が期待できることから指定管理者制度を取り入れることとしている。

程度増額となる。
問 本町の持ち味、子育て支援策に、一歩踏み出し国の地方を元氣付ける施策に出来る為にも、町内高校生の通学費は月一万円で残りは町が負担するの地方戦略の一環ではないか。
総合政策課長 事業の効果を精査し、総合戦略策

建設課長 運営している場合、町の直営でやるのか、指定管理者制度を取り入れるのかという議論の中で、町としては地元の皆さんにその施設を盛り上げていただきたいということ、直営です。よりも指定管理者制度というような制度を利用し、柔軟に運営していただくほうが、より地域に密着した施設として発展していくというような考えのもとに、道の駅の整



道の駅建設予定地

【その他の質問】
「これからの農業政策」「不公平のない納税」

備検討委員会の中で議論をさせていただいて、決定している。



問 近未来の永平寺町の姿は

答 にぎわい、活気ある町

町長 人口減少社会をかんがみ、地方での雇用を生み出し、一極集中をなくすことを目的と考えている。これからも、新たな視点で、観光・特産品に目を向けることが大事で、地方創生にあたりバランスのとれたまちづくりに努めたい。
問 福祉政策、本当に進捗しているのか。
福祉保健課長 重点的取り組みとしては「介護予



永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

【その他の質問】
「道の駅と禅の里温泉との連携は図れるのか」「消防指令のデジタル化の有効利用」



上坂 久則 議員

問 永平寺町の地方創生事業への考え方は。
総合政策課長 都会流出を食い止める戦略策定である。施策実施効果として地方に人が訪れ、にぎわい、活気ある町としてい

防・日常生活支援総合事業」で、課題・問題点の洗い出しに取り組み中である。今後関係事業者と協議予定。
問 安心カードの普及実態は。
福祉保健課長 町内90地区中、42地区、2683世帯に配布。松岡地区は低実態である。今後、記載情報（更新手続等）に留意し、普及に努める。

問 「まち・ひと・しごと創生」企画の進捗は

答 現在、委員会で論議を重ねている

問 国は、来年3月までに各自治体に地方版総合戦略計画の作成要請をしていると聞きますが、多くの自治体は秋頃までに作成すれば、昨年度の交付金に補正し追加されると聞いている。
県下市町でも早々と施策を新聞、テレビ等で報道されているが本町の戦略はどこまで進んでいるのか。
問 高校生の通学定期代の統一化を

答 総合戦略策定委員会で検討したい
問 子育て支援でもある高校生の通学費、特に自宅から遠い高校に通う地区は親の負担は大きい。高校生は通学割引と町補助で松岡駅、福井駅の3ヶ月定期代は、3万1800円、竹原駅、福井駅4万2700円、差引1万2520円の差があり、町内高校生の松岡駅からの定期代3万1800円以上を全額補助すると、毎年の予算額にどのくらい増額するのか。
総務課長 約680万円



遠距離通学する高校生



多田 憲治 議員

問 現在、新幹線金沢開通に伴い、永平寺町参拝客も多くなると、ミラノ博でも日本はZENを掲げ歴史的文化的の高い大本山永平寺の町、3年後の国体開催に伴う町のアピール、5年後の東京オリンピック、北陸新幹線の福井までの早期開通等、地方戦略の追い風を進むべき道を早急に進めたい。
問 現在、新幹線金沢開通に伴い、永平寺町参拝客も多くなると、ミラノ博でも日本はZENを掲げ歴史的文化的の高い大本山永平寺の町、3年後の国体開催に伴う町のアピール、5年後の東京オリンピック、北陸新幹線の福井までの早期開通等、地方戦略の追い風を進むべき道を早急に進めたい。

問 コミュニティバスの利用促進を

答 住民ニーズに応えたい



中村勤太郎 議員

問 運行の大きな課題として、事業目的、運行内容の中で、行き先・経路、日・時間帯、が挙げられるが、行政の課題は。

総務課長 地域の小・中学生が利用され、非常に重要な足の確保。ただ、公共交通を補完する意味合いで、ルート・時間が決まり、変更等の柔軟な対応ができないのが大きな課題。

問 運行と利用者のニーズに大きなギャップがある。公共交通機関との競合、国土交通省等の課題を克服できるか。

総務課長 昨年実施したアンケート調査の結果を分析し、客層・年齢層の観点からも調べる。

問 「どこへ行くのも不便だ。高齢者は医大や、ラッキー・デイジー

へ利用できるように見直してほしい。」と強い要望があった。コンサル等に対し、自由コースバスを、3地区で曜日を決め3本運行し、スクールバスは、必要時間フル運行し、住民の声を反映するように。

総務課長 停留所・ルート・時間の変更は、全て



コミュニティバス

問 インフルエンザ等が流行して、学校が学級閉鎖や学年閉鎖、学校閉鎖時の放課後児童クラブや児童館の対応は。また、行事が予定されている場合の対応は。

子育て支援課長 放課後児童クラブは学校と同様の措置。児童館は来館者が不特定なため通常通り開館。人気のある行事については、感染症が発生しにくい時期に開催するように今年度は計画した。

問 自然災害で倒壊が懸念され周囲に危険だ。景観や防犯上も大変問題だ。町内には既に必要とされる対象物を見受けるが、現在の対策、計画は。

建設課長 空き家の実態は松岡地区114戸、永平寺地区64戸、上志比地区51戸である。

問 地域をまとめるのは区長だ。行政から区長に危険な空き家、利活用できるような空き家等の

答 区々とも判断する

問 空き家の利活用を積極的に

建設課長 有効活用できる空き家や危険な空き家をデータベース化し、常に毎年更新していきけるように実態調査を行っている。

総務課長 危険で適正管理されていない空き家は、区長からの報告を活かし、協議会で検討する。

問 建物の建設入札で不調や不落到ちの原因は。

総務課長 主任技術者の手が足りない、作業員の不足、資材労務単価の高騰など。

問 入札が不調や不落到ちにならない対策は。

総務課長 金額的に大きなものは入札に参加する意思を確認する意味で、一般競争入札を少しずつ増やす。

提案 入札が不落の場

地域公共交通会議の協議が必要。オンデマンド方式やスクールバスの併用

運行等を視野に入れ、住民ニーズに応えたい。

問 平成27年度米政策を問う

答 経営所得安定対策の加入で



小畑 傅 議員

問 経営所得安定対策（以後ナラシ対策）の重なお知らせとして、往復八ガキが北陸農政局福井地域センターよりきた。

平成27年度より面積規模要件を廃止し、認定農業者が集落営農を要件とするとなっている。この対策は、従来の家族形態農業を切り捨てて米価を国際価格基準以下にして、国内の農家を大幅に削減する方向を示していると思う。同様に、米の減反政策に協力する直接支払交付金も26年度から反当たり7千500円に半減され、29年度で終了する。3年後、本町農業どのようになるのか。

本町農業の方向性をどのように考えているのか。また、ナラシ対策とも連動するが、農地中間

答 経営所得安定対策の加入で

管理機構の進捗状況はどのようになっているのか。貸方・借方双方の意見を充分に聞いているのか。

農林課長 現在、水稻を中心とした農家にとって米価の下落や交付金の廃止は、これまで以上に所得が減り農業経営は益々厳しくなっていくことが予想される。町としては農業経営の効率化を進める上で農地の集約・集積を進めなければならないと考えている。また、水稻中心の農業から地域振興作物等のブランド化を加速させ、所得増が見込める園芸作物等への転換も含め補助金に頼らない、儲かる自立できる農業の推進を図りたいと考えている。

次に農地中間管理事業の進捗状況は、26年度末実績で10地区で8ha、27年度では今のところ4地区で94haの集積を予定している。人・農地プランで担い手の意向調査と見直し等も随時行って、貸方・借方の要求は反映していると考えている。

田植え1カ月後の水田

提案 今、担い手農家が米価の低迷で厳しい状況に置かれていてと聞いている。我が国の農政は近視眼的にココココ変わるが土地政策も絡み、農地・農業を守りリスク分散からも二種兼業農家の存

在が重要になってきていると思う。農家を突き放すのではなく温かい農政を期待する。

【その他の質問】
「屋外運動場の芝生化を」

問 放課後児童クラブのソフト面の充実を

答 衛生管理と安心安全を確保



長岡千恵子 議員

問 避難訓練の実施状況と内容は。

子育て支援課長 毎月1回定期的にいろんな状況を想定して実施。

問 保護者の意見や要望はどういう方法で収集し対応しているのか。

子育て支援課長 放課後児童クラブは学校と同様の措置。児童館は来館者が不特定なため通常通り開館。人気のある行事については、感染症が発生しにくい時期に開催するように今年度は計画した。

問 子育て支援課、児童館、放課後児童クラブ、小学校間の連絡や情報交換の内容と方法は。

子育て支援課長 児童クラブと児童館の職員が毎日子育て支援課に来て連絡。学校と児童クラブは児童の体調不良について連絡。

問 4月、5月の避難訓練の実施状況は。

子育て支援課長 4月については確認する。5月25日に火災の避難訓練を実施。



放課後児童クラブ



川治 孝行 議員

問 人口減の対策について

答 町民主体で町に誇りを取り戻す

問 福井県は、人口79万人を割り65歳以上の人が5割を超えた「限界集落」が100を超え137となり、永平寺町でも人口減少問題への対応が急がれるが今後の対応策は。永平寺町の集落で65歳以上の方が5割を超える集落があるのか、また5割に近い集落は何集落あるのか。

総合政策課長 65歳以上が50%を超える集落は無いが5割近い40%を超える集落は4集落、55歳以上が50%を超える準高齢化集落は24集落ある。

問 道路整備や観光施設整備を進める中においても永平寺町の過疎化や高齢化が進む背景には何が起因



しているのか。

総合政策課長 若者の県外大学への進学、就職などは戻らない事が大きな要因と推察され、また通勤圏内に優良大中企業が少なく雇用の場が確保できないことから過疎化・高齢化を促進させている。

問 地域創生は、行政中心ではなく住民が自分達の地域に自慢と自信に溢れた誇りを取り戻す「誇りの再生」の視点から人口への考察について伺う。

総合政策課長 地方創生の取組みは行政だけではできない。町民の声を総合戦略に反映させるため、町民公募をし、議論

問 不登校の児童・生徒はいないのか

答 本町にも若干みられる

問 4月の終わりごろ、テレビのニュースで日本全国には、17万人の不登校児童・生徒がいるとの報道があった。永平寺町内の小中学校で不登校の子どもはいないのか。

教育長 一般的に30日以上欠席を不登校という



酒井 要 議員

問 町内の認知症高齢者は何人と認識しているのか

答 認知症の患者は増加傾向

問 早期に発見、早期に治療が必要と思う。痴呆症になつていいる方は何人いるのか。

福祉保健課長 平成26年度町内で介護認定を新規、更新された方が約千人いる。

この場合に主治医意見書が提出される。いわゆる認知機能の低下や、認知症疾患の症状がみられる方が430人ほどいるということがある。全てが認知症だとは言えないが、そういった症状が見られるという方がいるということだ。

問 塩分を取り過ぎないこと、ニュースを見ること、物事に興味を持つことが認知症の予防になる

福祉保健課長 サロン等では、チェックリストを使って認知症の第一次検査を行っており、認知症の早期発見に努めている。

問 空き家、空き店舗の増加抑制、利活用策を

答 使用者に対する問題意識の啓発を



朝井 征一郎 議員

問 老朽家屋などを解体する所有者に解体費用を助成する「空き家対策特別措置法」は、防災・防犯・景観などの観点から、「特定空き家」を増やさないためのもの。補修費助成や空き家を生かした地域活性化を。

総務課長 空き家の適正管理に関する条例に基づき適正に管理されているか否かを協議の上で、その指導によって取り壊し



をする場合に補助する。

税務課長 税制面での優遇措置については、税の公平性を阻害することにつながるため税制面以外での援助が望ましい。

【その他の質問】
「町民から見たコミュニケーションパス」

に加わっていただく総合戦略策定委員会を設け、議論を進めている。委員からも自分達の誇りを取り戻す「誇りの再生」から人口減少の問題を検討する意見が出た。

問 人口減少社会にあつて、文部科学省では1学年1学級以下の公立小中学校の統廃合の検討を

促す手引き案を公表したが、永平寺町でも生徒数の減少から手引き案に基づき見直し又は統廃合の施策があるのか否か。

教育長 手引きでは12学級以上18学級と本町は8校は適正でないが、本町の場合、地域のコミュニティの中核的な存在であり地域としても

大切な学校である。現状をしつかりと見詰め継続しながら教育効果が上がる施策を考えていきたい。



問 若者定住のための拠点施設を

答 交流の場として気軽に利用できる施設に

問 旧織物会館跡地に、全国的に話題となつているような憩いの場、語らいの場、交流拠点として、町民が出入り自由でオープンな施設「まちの駅」の施設を。

総合政策課長 この旧織物会館の拠点施設は訪れた人、地域の人、学生や若い人が気軽に入れる、トイレ休憩、食事、自由に入れる施設を町は考えている。

創生の中で企業誘致とか観光の拠点などを、しっかりと盛り込んでいく。若者定住促進事業は、新たな情報発信として、若い人たちに向け福井のタウン誌や自治体PRのCMを通じ、発信していきたい。

問 宅地造成事業計画、企業誘致計画は人口

町長 北インター周辺は市街化調整区域に入っている。地方



旧織物会館

問 医大付近へのハニー出店計画は認めるな

答 地域の活性化、地元の雇用にも



金元 直栄 議員

問 「れんげの里」対面へ、ハニーの出店計画が進んでいるが、地域や「れんげの里」の関係者から不安の声が聞かれる。町として、①県と町が支援し運営にこげつけ、地域の農産物の売り上げに貢献している施設の対面に出店計画は普通は考えられない。②高齢者が歩いて行けるように商店を残そうという都市計画からも、旧松岡市

答 「れんげの里」対面へ、ハニーの出店計画が進んでいるが、地域や「れんげの里」の関係者から不安の声が聞かれる。町として、①県と町が支援し運営にこげつけ、地域の農産物の売り上げに貢献している施設の対面に出店計画は普通は考えられない。②高齢者が歩いて行けるように商店を残そうという都市計画からも、旧松岡市



県ふるさと納税パンフレット

問 ①控除枠内であれば、寄付者は2千円負担で寄付額差額の税額控除と寄付先自治体の特産品返礼あり。自治体は一般会計予算外の収入、返礼品への支出額は地元商工業観光農林業への振興予算

答 ①控除枠内であれば、寄付者は2千円負担で寄付額差額の税額控除と寄付先自治体の特産品返礼あり。自治体は一般会計予算外の収入、返礼品への支出額は地元商工業観光農林業への振興予算

問 街地商店やマーケットへの影響を考えると、町の姿勢が問われる。

農林課長 現在、関連会社から下合月地係で、農地転用事業計画書が提出されており、今後、関係機関への意見紹介を6月いっぱい求め、手続きを進めることになる。

答 地元や関係機関等の同意を得ていることについては、地域の活性化、地元の雇用の面からも企業進出

問 町が発展のためにも、良いことだと考えている。

建設課長 御陵地区は特定用途制限地域で、店舗は3000㎡を越えるものは建築を制限している。

問 鳴り物入りで商品券が宣伝され販売されたが、「買いに行つたがもうなかつた」「9組も買った人がいるのに」など苦情をたくさん聞いています。

答 鳴り物入りで商品券が宣伝され販売されたが、「買いに行つたがもうなかつた」「9組も買った人がいるのに」など苦情をたくさん聞いています。



永平寺口駅前公園

問 コミュニティバスの利便性向上を

答 オンデマンド含め改善点探る



奥野 正司 議員

問 ①運行受託者と行政担当との情報交換は。②御陵行きは16時に翠荘前を発車するが、松中の部活の無いときの終業は16時5分なので、10分程度の差でバスに乗れない。間に合わせてもワゴン車

答 ①運行受託者と行政担当との情報交換は。②御陵行きは16時に翠荘前を発車するが、松中の部活の無いときの終業は16時5分なので、10分程度の差でバスに乗れない。間に合わせてもワゴン車

問 北インターエリアの持つ発展性・可能性はどう引き出すか。北インターから本町市街地への道路は未だに農道、早急な対応要。

建設課長 北インター周辺は40数年前に市街化調整区域に指定され、厳しい規制あり。時代に応じ

問 出遅れていないか、ふるさと納税

答 本年度より対応

の定員が少なくて乗れない。ダイヤ調整や使用車両の調整を。③松岡町内の東西のルートは利用者本位の再検討を。④志比塚の児童の通学安全性を高めるバス利用は。

総務課長 ①毎月の乗客数やバス停ごとの利用報告時に管理上必要な情報交換を実施。②短期間の変更は困難。今後学校関係者、PTAとも協議。③④アンケート結果もふまえ利便性・安全性を高める取組を再検討する。

問 永平寺口駅周辺アンケート結果で

答 駅周辺地域に事業効果を反映



長谷川治人 議員

問 都市再生整備事業一環で計画、目標の達成状況や今後のまちづくりに関して利用環境に関するアンケート結果集計をするもの。特に永平寺口駅周辺整備事業で聞く。

総合政策課長 調査方法・平成26年11月20日から12月5日。調査対象は志比谷地区（志比から山）、東古市地区の784世帯。回収率26.1%（205世帯）。

問 その他全ての質問で駅周辺に住んでいる方が高い比率だった。自由回答では、主に「現在の踏切の位置を変更すると良い」という意見には、いままたな踏切計画で踏切の取扱い、アクセス道路の整備等地元と協議を進めているところ。

答 また、「参ろ」の入り



永平寺口駅案内看板

この中で年代が50代以上が80%を超えた。その中で興味があるのは、町で定住の意向があるかという設問に対し、「住み続けたい」という方が135人と圧倒的に多く、逆に「ほかの市町、県外に移りたい」が27名だった。

また、永平寺口駅案内看板は福井銀行前のT字路部分に設置している。

問 年金情報の流出以後、マスコミ報道の特徴はマイナンバーへの不安で、10月から全国民へ付番が始まるこの制度も標的にならないか。さら

答 十分な対応を求めている

総務課長 年金情報の流出に、ウィルス感染はもう前提だというもので、生涯不変の番号で利用を民間にまで広げるやり方は大問題だ。町の姿勢は。

問 マイナンバーの問題点は

答 十分な対応を求めている

総合政策課長 システムの出をふまえ、マイナンバー制度に対しても十分な対応が必要であると率直に思う。

問 プレミアム商品券の発行と問題点

答 鳴り物入りで商品券が宣伝され販売されたが、「買いに行つたがもうなかつた」「9組も買った人がいるのに」など苦情をたくさん聞いています。

総合政策課長 システムの出をふまえ、マイナンバー制度に対しても十分な対応が必要であると率直に思う。

議会・各委員会の議員出欠状況 ○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 -…員外 傍…傍聴 弔…弔事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	齋藤則男	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	川崎直文	
6月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月16日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月16日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月15日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月11日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月2日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月2日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月29日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月29日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月21日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月8日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月24日	議会と語ろう会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月23日	議会と語ろう会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月22日	議会と語ろう会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月21日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月14日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月7日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月31日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月24日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月17日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																			
	会議回数																			
	出席率																			

問 情報漏洩した場合の責任は

答 全職員への研修実施



温泉横 道の駅建設予定地

問 日本年金機構で発生したように、例えば町職員が誤って不正メールを開いたことでマイナンバーの情報が漏洩した場合、その職員が訴えられないか。心配なところがある。

総務課長 人為的ミスが8割と言われるIT環境の中で、リスク的には無いと言えない。組織の責任として、9月までに全職員を対象とした研修を実施する計画である。



滝波登喜男 議員

問 道の駅プレゼンの内容は

答 特産物や加工品の販売

問 「旅の潤いとなる道の駅」をコンセプトに、地元業者一社がプレゼンテーションに参加した。その内容はどんなものか。また、地元商店との競合に、どのような配慮をするのか。

建設課長 地元特産物や加工品、オリジナル商品等の販売。また、将来的に雪室を作り、熟成野菜を周年販売するなどが提案された。また、地元商店と新商品の生産など、一緒に取り組みたいとの提案を受けている。

問 ふるさとプロジェクトのねらいは

答 来訪者や地域住民の交流の場

問 計画書によると、松岡地区の誇れる地域素材を生かし、交流人口の拡大や地域活力の創出、大本山永平寺の観光誘客の実現となっている。具体的には、レトロ風な建物を織物会館跡に建て、食や酒を提供するカフェ、禅や歴史文化を視覚的に発信、イベントなどを行うとしているが、道の駅とかぶっていないか。

町長 本山を訪れる人や九頭竜川に釣りに来た人、大学の学生さんや留学生の方々と地域住民の交流の場として使ってもらいたい。また、地元太鼓グループや幼稚園の発表の場、会議などにも気軽に使ってもらいたい。町民が納得できるように再検討を。提案 コミュニティの場を提供するということが、2億5千万円という費用をかけ、直営で行おうとする事業なら、ねらいとその中身をもう少しきちっとしていただきたい。町民の納得のいくものに。

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2015年7月24日(金)~7月30日(木)

時	7月24日(金)	7月25日(土)	7月26日(日)	7月27日(月)	7月28日(火)	7月29日(水)	7月30日(木)	時
9:00	6月2日 開会①	6月9日 一般質問② 奥野正司議員 長谷川治人議員	6月17日 本会議	6月8日 一般質問⑨ 中村勲太郎議員 川治孝行議員 酒井要議員 朝井征一郎議員	6月11日 予算決算常任委員会③	6月8日 一般質問① 伊藤博夫議員 上坂久則議員 多田憲治議員 齋藤則男議員	6月11日 予算決算常任委員会①	9
10:12	文字告知放送	文字告知放送	文字告知放送	文字告知放送	文字告知放送	文字告知放送	文字告知放送	10
11:00	6月2日 開会②	6月9日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員		6月9日 一般質問① 江守勲議員 樂間薫議員 上田誠議員	6月16日 予算決算常任委員会①	04 文字告知放送	00 6月11日 予算決算常任委員会②	11
12:04	文字告知放送			53 文字告知放送	00 6月17日 本会議	00 6月8日 一般質問② 齋藤則男議員 小畑傳議員 長岡千恵子議員	40 文字告知放送	12
13:00	6月8日 一般質問① 伊藤博夫議員 上坂久則議員 多田憲治議員 齋藤則男議員	06 文字告知放送 6月11日 予算決算常任委員会①	00 6月2日 開会①	00 6月9日 一般質問② 奥野正司議員 長谷川治人議員	14 文字告知放送	33 文字告知放送 6月8日 一般質問③ 中村勲太郎議員 川治孝行議員 酒井要議員 朝井征一郎議員	00 6月11日 予算決算常任委員会③	13
14:04	文字告知放送	04 文字告知放送	12 文字告知放送	19 文字告知放送		56 文字告知放送	18 文字告知放送	14
15:00	6月8日 一般質問② 齋藤則男議員 小畑傳議員 長岡千恵子議員	00 6月11日 予算決算常任委員会②	00 6月2日 開会②	00 6月9日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員		00 6月9日 一般質問① 江守勲議員 樂間薫議員 上田誠議員	35 文字告知放送	15
16:00	文字告知放送	04 文字告知放送	04 文字告知放送	04 文字告知放送		00 6月9日 一般質問② 奥野正司議員 長谷川治人議員	00 6月17日 本会議	16
17:33	文字告知放送	40 文字告知放送	00 6月8日 一般質問① 伊藤博夫議員 上坂久則議員 多田憲治議員 齋藤則男議員	06 文字告知放送 6月11日 予算決算常任委員会①	00 6月2日 開会①	53 文字告知放送		17
18:00	6月8日 一般質問③ 中村勲太郎議員 川治孝行議員 酒井要議員 朝井征一郎議員	00 6月11日 予算決算常任委員会③		00 6月11日 予算決算常任委員会①	12 文字告知放送 6月2日 開会②	00 6月9日 一般質問② 奥野正司議員 長谷川治人議員	14 文字告知放送	18
19:56	文字告知放送	18 文字告知放送	04 文字告知放送	04 文字告知放送		19 文字告知放送		19
20:00	6月9日 一般質問① 江守勲議員 樂間薫議員 上田誠議員	00 6月16日 予算決算常任委員会①	00 6月8日 一般質問② 齋藤則男議員 小畑傳議員 長岡千恵子議員	00 6月11日 予算決算常任委員会②	04 文字告知放送	00 6月9日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員		20
21:53	文字告知放送		33 文字告知放送	40 文字告知放送				21
22:06						06 文字告知放送		22

傍聴にお越しく下さい

生中継 第3回 9月定例会 (予定)

8月31日(月) 10時~ **【本会議】**
 9月 7日(月) 8日(火) 9日(水) 10時~ **【一般質問】**
 9月10日(木) 9時~ **【予算決算常任委員会】**
 9月16日(水) 10時~ **【予備日】**17日(木) **【本会議】**

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、**3階議場傍聴席**にお越しください。
- 車椅子でお越しの方は、事務局までご連絡ください。(☎61-3950)

エレベーター & スロープ 完成

このほど、役場3階までのエレベーターと、車いす利用されている方やお体の不自由な方のためのスロープが完成しました。ぜひ傍聴にお越しください。



《変わる介護保険制度》

問 将来的に介護人口は増加する。施設入所を希望しても施設が不足する。在宅介護を進めるにはどうするのか。

議会 介護状態にならないように健康づくりを考えないといけない。幼児の保育所ではないが、老人向けの宅老所が必要。

シェアハウスのような共同生活をするようなことも考える必要がある。皆で知恵を出し合って考えていただくことが今回の目的。

問 認知症サポーター養成講座を実施しているというが、我々の目には見えてこない。

議会 サポーター養成講座というのは、社会福祉協議会が実施している。町が一步踏み出してやっていこうという形になっていない。議会でも役場と社協が中心となって認知症対策を地域と一緒にやっていくように求めている。

問 要支援1・2が今度、介護保険から地域支援事業になって市町村による事業に移行となるということだが、これは介護保険の支給対象にならないということか。

行政 要支援1・2の人が利用する訪問介護と通所介護を、介護保険の給付対象から介護予防事業対象に移すことになった。

これまで全国一律だった要支援1・2の訪問介護と通所介護のサービスは、市町村の事業に移ることで、「指定業者」だけでなく、NPOやボランティアなど、さまざまな団体がサービスを提供することになる。

どのようなサービスを用意するかは、市町村にその権限がゆだねられている、というのが重要な点である。



町民の声を議会へ

議会と語り合

ダイジェスト版 (※ 質疑内容抜粋)

平成27年4月22日23日24日 実施

町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、3日間で延べ142の方が会場に足を運んでくださいました。



《考えよう！町のコミュニティバス》

問 町が差引き4,200万円も負担している。何人利用しているか。乗った事の無い人が多い。利用率を上げるには、時間帯に応じて中学生向け、高齢者向けに利用対象者の利用しやすいように、松岡駅へ回り中学校へ行くなど、時間設定、運行ルートにメリハリをつけて、検討は出来ないか。運行ルートが毎回同じ停留所を回らなくてもいいのではないか。

議会 いただいたご提案を審議検討し、町民が真に利用しやすいコミュニティバスにしたいと思う。

問 コミュニティバスに誰も乗っていないのを見ているのもつらい。もったいないと思う。教育のことで考えると、少子化になってるので学校の統廃合等を考えて、子どもの送迎などにも、このルートを通る場合に、例えば松岡で一つにして、御陵からも送迎にバスと一緒に使えると効率も上がるのではないか。

議会 コミュニティバスのことを考えると、現在も小中学生は使っているので利用率は以前より上がっている。日中乗客のいないバスを見ると心が痛む。

問 コミュニティバスの無料バスが適用される障害者の範囲について。

行政 現行制度では、「永平寺町コミュニティバス運行事業実施要綱」により身体障害者手帳の交付を受けている方が、無料で利用できるとなっておりますが、今後は、精神障害者保健福祉手帳および療育手帳等の交付を受けている方についても無料で利用できるようにする。

(行政からは後日回答を得ました)

《その他の意見交換》

問 人口減少についてはどう対応しているのか。

議会 現在、町は定住促進（永平寺町住まいる定住応援事業－定住支援金、子育て支援金－）、子育て支援、教育支援などを行っている。また、宅地造成の適地調査にも取り組む。

問 中部縦貫道の開通で、県外車が道に迷うことが多く、道路マップ、案内板の設置を。

議会 主要な交差点や分岐点周辺には路面表示や道路案内が設置されているが、より効果的な案内板等の設置については国・県に要望していく。



問 給食無償化の見直しを検討してはどうか、全額無償と言うより半額とか、3人目から無償と、いろいろ基準を作ってはどうか。

議会 行政、議会、保護者などで検討委員会を立ち上げ考えていく必要性もあると思う。

問 地方創生を各議員どの様に考えているのか。

議会 議会も国の方針を受け、地方版総合戦略を検討する。地方創生プロジェクトチームを立ち上げ取り組む。

※紙面の都合上、掲載できなかった
質疑内容・回答はホームページほか、
役場本庁・永平寺支所・上志比支所で
7月下旬よりご覧いただけます。
ご了承ください。

永平寺町議会

検索



荒川のホタルを地域で見守っています



吉野地区公民館を軸に

毎年、6月上旬に、松岡吉野地区を流れる荒川には、ホタル（表紙写真）が舞います。今年は5月に気温が高かったため、5月23日には、最初の一匹が飛びはじめました。今年は、ずいぶん長い間、大量のホタルが舞いました。

毎年、ホタルの時季には、吉野公民館の運営委員会を中心に、ホタルの見守り活動を行っています。その中心となってきたのが、歴代の公民館長でした。

今年はNHKで取り上げられたことから、たくさんの方がホタルの観察会におとすれました。これらの人々を案内したり、車の誘導や注意を行っているのも、運営委員会だけではなく、地域から自主的に参加する人たちも加わり、声をかけ合っています。

毎年、ホタルの発生時季に合わせ、ホタルが見渡しやすいようにと、土堤の草を刈るのも各地区の人達です。

荒川のホタルも、1960年代、農薬に水銀が使われていたころは、ほとんど見られなく



見守りへいざ！

なりましたが、1970年代後半には自然と回復していました。

ホタルの回復と同時に、誰とはなしに草を刈る時期を考えたり、網でホタルを捕って帰ろうとする人への注意をしたりと、自主的にホタルを見守ろうという人達も出てきました。

以後、歴代の公民館長が中心になり、敦賀市や福井市内の地域公民館との交流や観察会の開催、小学生による荒川の生き物調査やホタルの幼虫飼育へと広がり、注目もされるようになる中、町で定めた「ホタル保護条例」も追い風となってきました。

このホタルの保護というか、見守り活動、どこの団体というわけではなく、地域の公民館を中心に、各地区の自治会や、吉野の里を守る会、学校や幼稚園の先生方、そして子ども達と、地域ぐるみで見守っているのです。

(金元 記)

今年は、永平寺川もすごいですよ！



何が見つかった？（荒川の生き物観察）

編集者のひと言

季節は春から夏に移り、過しやすい日々から少し蒸し暑い季節になりました。御陵地区の田畑を見回すと、五領たまねぎの収穫も終わり、水田の稲も元気にすくすく育っています。

町では、官・民（自主防災組織）合同の水防訓練が松岡河川公園で実施され、参加された皆さんが真剣に取組まれる姿勢には「備えあれば憂いなし」の伝承が伝わりました。

今年も、豪雨災害がなければと願うばかりです。

今現在、私たち議員がこれらの災害に対処する行動マニュアルが決められていない状況です。微力ながら町民の手足となるよう議員で話し合い、早々に防災に対する仕組みを構築するよう努力したいと思っています。（中村 記）

議会広報特別委員会委員

- 委員長 長岡 千恵子
- 副委員長 楽間 薫

発行責任者

- 江守 勲・上田 誠
- 金元 直栄・中村勘太郎